

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2024年5月23日 委員会実施】

2023年度自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)による

衛生 まとめ

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
1 育 成 育 人 理 念 目 的	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3		学園・学校ともに中長期的な計画を定め、その上で今年1年は何を課題に取り組むかが明示されている。 その計画を実現させるためにも、継続的な入学定員の充足が重要である。	理理念・目的・育成人材像を明確に定めており、各会議、研修等で広く周知を図っている。 また業界ニーズの変化をいち早く吸い上げ、それに応えるカリキュラムの構築も行なっている。 養成目的:卒業後およそ3年(または業界から求められる人材像)の姿 教育目標:卒業時の到達像	3.0		全国で約2700校ある専門学校の中で、産学連携・情報公開・第三者による評価を受け職業実践専門課程を実践している学校は約1000校のみです。 保護者にとっても生徒を送り出す高校にとっても、この努力と文部科学省認定校としての継続は高く評価できることです。 また私学にとって重要な建学の理念を、いかに具現化するかが生命線だと思いますが、建学の理念の①実学教育 ②人間教育 ③国際教育 を確実にを行い、社会のニーズや業界の動きに対しても速やかに対応する教育がなされています。 理念・目的・育成の明確化を感じ頼もしいです。
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか							
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか							
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか							
2 学 校 運 営	2-2 運営方針は定められているか	3		事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして目的・目標を共有することに力を入れている。各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・部署別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りを行うためである。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に社会のニーズに対応した事業計画・運営方針を定め、実行を徹底していく。 法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視しており、毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間を通じ会議、研修の場を活用して力を入れている。	事業計画の構成 ①組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的) ②運営方針(中期的に組織として目指していく方針) ③実行方針(中期的な組織の運営方針を実現するための単年度の方針) ④定量目標(受験者、教育成果(中途退学防止、欠席率、資格取得数、就職率、専門就職率等) ⑤定性目標(人材育成や組織あり方等定性的な目標についての単年度目標) ⑥実行計画(その方針を実現するための詳細な計画) ⑦組織図(単年度) ⑧職務分掌 ⑨部署ごとの計画及びスケジュール ⑩附帯事業計画 ⑪職員の業績評価システム ⑫意思決定システム ⑬収支予算書(5か年計画)	3.0	学校運営は中期長期の事業計画・運営方針を最高意思決定機関である法人理事会そして評議委員会で決定承認されて、その後は事業の戦略会議をへて法人運営会議・学校運営会議におろされ、さらに学校全体会議から学科・部署の会議を経てグループ各委員会に伝えられる組織が出来上がっています。 組織運営や意思決定の機能と効率は万全の体制と言えますから学校運営に関しても高い評価が出来ます。法人の意思が学校に伝わり全教職員が、同じ方向に向かって進むことが学校教育の基礎だと思います。その基礎を基にして各組織分掌が的確に機能しています。 同時に教職員の人事や賞金の処遇についても、的確な制度で運用されていますので、これが学校の活力に繋がっているものと評価できます。 学校運営に対して、しっかりとした方針・計画・組織整備を行っている事が伝わりました。	
	2-3 事業計画は定められているか	3	「次年度の事業・収支計画は、既に今年作る次年度の報告書であり決算書である」という考えのもと、本学園の事業計画は作成されている。具体的には過去から現在に至る数字を考察し、また1年後、3年後または5年後には社会がどのように変化しているか市場調査を行い、作成をしている。	年度初めのスタート研修から事業計画を全員で共有している。運営会議・全体会で計画遂行の確認をとり実行している。今後も問題点を早期に見出し、対策を立て、実行するプロセスを徹底していきたい。				
	2-4-1 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3	事業計画・運営方針を定めることを最も重要視し、毎年事業計画・運営方針を定めていくとともに、5年後と5か年を見通した5か年計画も作成遂行している。 明文化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底することを年間通じて力を入れている。そのためにも各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・部署別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に業界ニーズ・学生ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	学校運営をマネジメントシステムの計画と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを念頭に人材育成の一環として運営を行っている。 事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。計画遂行の確認のため、問題点を早期に見出し、対策を立て、実行するプロセスを徹底していきたい。				
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか			数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務(例えば、入学式・卒業式担当、行事担当、学生挨拶推進担当、清掃運動担当など)も過程を評価できるようプロセス評価を導入している。 また、職員の職場に関するアンケートも実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。				
	2-5 人事や賞金での処遇に関する制度は整備されているか	3	採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。 また、その後の教職員の育成には、OJT制度をはじめ職階に応じた研修を整備している。そして、全教職員は目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賞金決定が行われている。					

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2024年5月23日 委員会実施】

2023年度自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)による

衛生 まとめ

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
2 学校運営	2-6 意思決定システムは確立されているか	3		各会議は、会議の位置づけ、会議日の告知、会議の進行の仕方を、事業計画においても明確化している。重要なことは、学校運営が滞りなく行われることである。学校運営で生じる様々な問題を早期に発見し、解決策を立て、実行することである。迅速な意思決定ができるシステムになっている。 また、会議の進め方、結果の取り扱いを重視している。 常に『何のため』を意識して会議を実施しており、議論に必要な資料は、担当者が事前にデータ分析などを行い、準備している。また、会議で決定されたことは次回の会議で進捗状況を振り返ることで、漏れや遅滞を出さないよう工夫している。	会議の構成は以下の通り。 1. 法人理事会・評議員会 :最高決議機関 2. 学校戦略会議 :運営方針の起案会議 3. 法人運営会議 :運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 学校運営会議 :学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 :決定事項の周知 6. 学校学科会議・部署会議 :部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・広告倫理委員会・個人情報保護委員会・学科別教育研究委員会・災害対策委員会・カウンセリング委員会・オリエンテーション委員会) 8. 様々なプロジェクトの会議	2の続き 評価は 前ページ に記載 してください。		
	2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3		専門学校基幹業務システム(IBM社製 i 5(アイファイブ)上に構築)により管理している。 管理項目は以下の通り。 ①学籍簿管理 ②時間割管理 ③成績・出席管理 ④学費管理 ⑤入学希望者及び入学者管理 ⑥各種証明書管理 ⑦求人企業管理 ⑧就職管理 ⑨卒業生管理 ⑩学校会計システム ⑪人事・給与システム ⑫ファームバンクシステム ⑬研修旅行管理システム ⑭寮管理システム ⑮健康管理システム 等により構築されている。	特に広報、学生の教育・就職・学費入金等、学生に関わる情報処理についてはすべて一元化された運営を行っており、学生情報にプレがないようにシステム構築をしている。そのことが、学生募集、退学防止、就職支援へとつながっている。			
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3		各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。 各学科の教育目標、育成人材像は、常に業界のニーズを反映させるため、業界調査、学科調査、競合校調査を毎年行い、そこで現れる業界ニーズに確実に応えられる教育目標、育成人材像を設定している。	人材ニーズの変化や業界そのものの変化に伴う学科の養成目的/教育目的の見直しやカリキュラムの再構築のために研修を実施している。研修は教育力(1.計画:カリキュラム 2.運営:授業 3.評価:試験フィードバック)向上のための教育改革項目について分析し、改革案を作り、改革実施を評価し、修正提言をする役割を担う。	3.0	建学の理念に沿った教育課程の編成や、産学連携の協力企業のニーズ動向をふまえて、養成目標＝教育目標＝カリキュラムの構成がなされています。PCP教育システム・CPI教育システム・MMPプログラムの体系は他にはない素晴らしい教育実践プランです。 成績評価・単位の認定は学生総てが持っているシラバスにも細かく明記され、学生による授業アンケートも授業内容や評価に反映されて、さらなる改善に繋がっていることは高い評価と言えます。 基礎科目が集中していると学生は大変かもしれません。基礎と臨床の結びつきは学生には分かりにくい為、ばらけても良いのではないかと。 他校の学生さんや他校出身の衛生士さんとお話を聞いて感じますが、御校の教育カリキュラムはとても優れている印象です。ここ数年で驚いたのは、保険制度について学ぶ機会がないとのこと、学生さんより学校で教えて欲しいと意見がありました。(レセプトについてなど、就職してからスタートするより、基礎知識があった方が良いということです)	
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか							
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3		キャリア教育にはいち早く取り組んでおり、入学前・在学中・卒業後と3つの時期を捉えて展開していることがポイントである。キャリア教育の機会には講義形式で知識を付与するものではなく、実践的な体験の中で養成されるべきものと考えている。 授業アンケートと、オープン授業を通して、授業評価を実施している。 授業評価の視点として、受ける学生の視点と、行う講師の視点の2つを重視している。授業アンケートによって、講師の授業評価を定期的実践している。	授業アンケート、オープン授業共に教務部長もしくは学科長から講師へフィードバックを行い、授業の問題点に対する課題提案をし、授業改善につながるよう取り組みを強化する。			
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか							
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか							
	3-9-4 授業評価を実施しているか							
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	2		成績評価及び単位認定の基準は明確に定めている。 授業履修時間も含めて、基準を遵守している。	卒業・進級判定会議を開催し学校長の承認を得ている。			
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか							
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3		入学者の全員が100%歯科衛生士国家試験の合格ができるように、対策を立てて取り組んでいる。また、仮に不合格となってしまう場合には、卒業後も合格まで無償支援する体制をとっている。	今年度の国家試験全国平均合格率が92.4%。 145名が受験し142名合格、3名不合格(合格率97.9%)であった。			
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか							
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	2		学科の育成目標を達成するために、講師がその分野のスペシャリストであること、また、同時に講師要件を満たしていることを講師採用において重点を置いている。 採用決定の講師は、講師会議を通して、授業運営に対する情報の共有化、成功事例の共有、また、学園の理念、希望する方向性、養成したい学生像を共有し、問題・情報の共有、解決につなげている。	同窓会ネットワークをいかし、交流を図っている。また、その情報から卒業生講師や外部講師を採用している。				
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか								
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか								
4 教育成果	4-13 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3		キャリアセンターの目標は、「入学した全学生を第一専門職の職種で就職させること」である。入学の目的を達成するための支援が必要であり、そのためには数字を元に現状を把握、問題を分析し、対策立案、実行のサイクルをまわすことが重要。そのための取り組みを徹底している。	キャリアセンターは、入学前の学生に対し歯科業界の状況や心構えを伝え入学できるように指導している。また在校生へは、履歴書指導から求人票の見方、面接練習や、筆記試験対策の実施。学内企業説明会を通して、就職に対する意識を高めている	3.0	歯科衛生士・歯科技工士は資格である国家試験に合格をしなければ衛生士・技工士にはなれない職種ですから、在学中は国家試験合格を目指した教育が徹底していることは高く評価できます。 ただ授業だけでは合格の対策には不十分なように思いますので、滋慶学園は徹底した合格補習授業で学生の能力を最大限に伸ばしています！こんな発想も必要かも知れません。 ただ他校にあるような成績不良者は留年させて、受験させないから合格率が上がる…これは絶対に避けて下さい。特別して合格させるのが滋慶学園であって欲しいと思います。	
	4-14 資格取得率の向上が図られているか	3		100%国家試験合格に向けて、全ての取り組み、教育活動は行われている。	国家試験対策も最終的には個別対策が必要となり、それは生活改善と関係し、学習支援は生活指導と直結する。学習習慣を身につけることが必要と考えられている。WEB上で勉強可能なシステムが構築されている。			100%の合格率を目指して、国家試験対策に熱心にとりくんで 頂いていると伝わりました。
	4-15 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3		同窓会組織を中心に卒業生の動向を把握している。同窓会に参加する卒業生を更に増やし、卒業生の最新の実態を把握する工夫や活動が必要といえる。	SNSを活用し、同窓会集客や卒業生の把握をしている。			

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2024年5月23日 委員会実施】

2023年度自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)による

衛生 まとめ

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
5 学生支援	5-16 就職に関する体制は整備されているか	3	例年の求人状況や採用活動のスケジュールと、学生のモチベーション等を鑑み年間計画を立てている。さらに2週間に1度の頻度で担任とキャリアセンターで学生の状況を共有し、就職活動状況の把握をしている。	キャリアセンターの情報更新、学生を支援する際に過去のデータを使用して相談、希望地域にふさわしい就職先の提示など、教員の業界知識の向上をはかっている。	3.0	学生の就職活動はキャリアセンターが中心となり計画的に行われています。また健康管理についても慶生会クリニックとの連携で他校にはない健康管理がなされています。いま高校や大学・専門学校では、コロナ感染の影響で体調が悪ければ休むべきだとの認識とリモート授業で単位は何とかなるであろうとの思い。さらには人間関係が構築できない学生の急増で、退学者の増加が懸念材料です。相談窓口やカウンセリングの重要性が高まっていますので、さらなる対応を期待します。生活支援では学生寮の充実と、学費等の経済的な相談窓口の整備は学生ばかりが保護者にとっても有難い体制の一つです。さらなる拡充に期待をしています。 多種多様な悩みを持つ学生に対して、専任のカウンセラーを配置するなどの対策をしてくださっており、素晴らしい。それが学生側に伝わって退学者が現象することを望みます。
	5-17 退学率の低減が図られているか	2	中途退学者防止のための目標数字を掲げ、学科長を中心に学生支援に取り組んでいる。要支援学生の分類や、モチベーションアップのための支援策や、システム整備のほかにも、担任の支援・育成のための研修プログラムも実施している。	年々、学力差、志望動機、留学生等、入学者が多様化している。常に、現状分析をしながら改善策を考え実行している。		
	5-18-1 学生相談に関する体制は整備されているか	3	専任カウンセラーを置き、いつでも相談できる環境を作っている。学校の全職員がカウンセリングの基本を学ぶ研修を受講しており、一定の対応はできるようになっている。教職員とカウンセラーの連携のスピードが鍵となる。	教職員全員が、カウンセリングマインドを持ち学生支援を行えるよう研修会&カウンセリング資格制度を実施。特に、カウンセリング研修では学園内組織(滋慶教育科学研究所)が主催する「JESCCカウンセラー資格」を全員に受講させ試験を実施することでカウンセリング技術の均一化を図る。心理学/カウンセリング基礎知識習得を行うことで、学生相談室との連携が非常にスムーズに行えている。		
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか					
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	経済支援に関しては、各種制度を利用しひとりひとりにあったプランを紹介している。学費専任スタッフを置き、いつでも相談できるよう面談予約やチャット相談ができる環境を整えている。健康面に関しても、学校医と連携をとり健康診断全員受診を維持している。その他生活面に関しても相談できる環境としている。	インフルエンザ予防接種のサポートや、新型コロナウイルス感染症の対策に関する情報発信をしている。		
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか					
	5-20 保護者との連携体制を構築しているか	3	学生の問題解決のためには、保護者との連携は欠かせない。成績不良、出席率の低下などが見られた場合には、すぐに保護者への連絡や単位取得状況の手紙を郵送し、情報を共有している。	入学式に保護者会を開催し、保護者との連携が必要であることや、学校と保護者の両面から学生一人ひとりを支援していく事を伝えている。		
	5-21-1 卒業生への支援体制はあるか	2	卒業生の活躍は、「業界の信頼」「高校の信頼」獲得に繋がり、本校の教育理念が実現されたことに対する評価である。学園としても離職率ゼロを目指しており、卒業生への支援は重要である。	入学生年齢層は幅広くなっている。非正規社員を経験してきた学生も多い。卒業後正社員で安定的に働きたいと希望している学生が多い。		
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	6-22 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	最新の設備での教育環境が整っている。		3.0	学校の教育施設は専門学校設置基準そして各種資格認定団体の認定校設置基準さらに消防法や建築基準・バリアフリー条例などを満たしており十分な教育環境が整備されています。また全学生に対して万が一の大規模災害に備えて、三日分の生活必需品の備蓄をするなど安全面での配慮も充分にされており安心できる学校の環境だと評価します。 追加の意見です。 素晴らしい学校設備が整っています。歩道を通る方が見上げる規模の専門学校は滅多にあるものではありません。この規模の施設を最大限に活用する企画が欲しいですね。 保護者として、災害時の非常食キット3日分は大変安心できます。
	6-23 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	学外実習・インターンシップ・海外研修を行うことで、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の全てと関わることになり、その教育効果は大きいものと考えている。	7つの現場実習による実学教育を行っている。 ①歯科医院 ②大学病院 ③高齢者施設 ④障がい者施設 ⑤保健所・保健センター ⑥小学校 ⑦総合病院		
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	実際の災害で対応できるように、マニュアルを整備している。災害時の対応を映像にまとめ、新任講師にも必ず研修を行っている。昼間部と夜間部それぞれの時間帯を想定して訓練を実施、また職員には訓練開始まで役割を知らせずに行うなど、常に実際の災害を想定した訓練を行っている。	「非常用キッド」を全学生数分+α備えており、万が一の場合の3日間分の食料、水、防寒への対策を立てている。		
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2024年5月23日 委員会実施】

2023年度自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)による

衛生 まとめ

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	3		広報活動は入学前教育という位置づけにしており、受験生の①職業適性の発見・開発②目的意識の開発の支援をしていく重要なプログラムであるという考えである。入学事務局、教務部、キャリアセンター、学生サービスセンターが一体になり広報活動にあたっている。 滋慶学園広報倫理規定グループの理念に基づいた募集開始時期、募集内容(推薦入試による受け入れ人数等)を遵守している。	社会情勢に合わせて柔軟にオープンキャンパスを開催している。 また、入学希望者向け入学案内とは別に高校教員・保護者向けの学校案内を作成し、教育理念やサポート体制についての説明を行っている。 そして、早期出願者に対し、出願時のモチベーションを入学時まで維持できるように「プレカレッジ(入学前教育)」を実施している	3.0		学生の募集は困難を極める時代に入っています。 18歳人口の減少で大学は全入時代となりつつあり、総ての面で専門学校は大学との競合となっています。2年制の学校が3年制の学校に変わり、3年制の学校が4年制の学校と変わって行く時代です。学びの時間も、学ぶ費用も専門学校と大学の垣根や差は無くなってきています。そんな中で専門学校が選ばれるためには何をしたらいいのかが問われる時代です。 高校も千葉県では公立私立で6割以上の学校が定員を確保できない状況です。都市部の公立高校が定員を獲得できなくなったのが今年の募集でした。私学は公立には出来ない教育を掲げました。専門学校も大学では学べない教育を掲げ実践する時代です。 そのなかで募集の柱がオープンキャンパスと高校の進路ガイダンスでは太刀打ちできません。進路ガイダンスは業者が予め選定した大学・専門学校を高校に呼び集めますから、いつも呼ばれるとは限らないのです。高校や中学校の文化祭・授業へ卒業生が中心となり出前授業を行ったりする。各種競技会・大会や催し物の会場でアピールする計画を期待します。
	7-25-2 学生募集活動は、適正に行われているか							
	7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3		「目的意識と適性」という選考ポイントのもと、説明会参加時の様子や面談でも受験生を把握している。その上で、面接・適性試験・書類選考で総合的に判定を行っており、適正かつ公平に行われている。	滋慶学園広報倫理規定に基づき運営している。目指す仕事に対する「目的意識」と「適性」(「欠格事由」についても確認している。)を基準としている。 入学者の事前データを基にクラス編成の参考にし、学生指導に活用している。			
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか							
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3		学納金は学科の教育目標達成(卒業時の到達目標)を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費(講師・教職員)、実習費、施設管理・運営費等に当てられている。諸経費に関しては、毎年教材及び講師の見直しを行っており、無駄な支出をチェックしている。その上で金額の見直しを実施するようにしている。	募集要項上において必要額を総額で明示しており、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用や教育ローンの案内を記載している。			
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか								
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3		5年を見越した中長期的事業計画を毎年立てその中で収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするためにより現実に即した予算編成になっているものとする。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	以下のチェック機能がある。 事業計画(財務計画・収支予算書) 1. 学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 2. 四半期ごとの学園本部によるチェック 3. 修正予算の作成:学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 4. 計算書類の作成と学園本部によるチェック 5. 監事および公認会計士による監査 6. 決算書類、事業報告書の理事会・評議員会による承認 内部監査を設置し、第三者視点で厳しくみている。	3.0		滋慶学園グループ全体で81校の規模。さらに全学生数は約4万人に誇る学園です。また経営内容については人件費の割合が40%とことから財務体制は盤石といえる基盤を備えています。その会計を公認会計士が監査し、さらに学園の監事による監査も実施されHPでも公開するなど環境が整備されています。 教育目標を定め、中長期的予算配分をしながら事業計画がされていますので、よりの確な予算の流れがあることは高く評価されるべきです。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか							
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3		収支計画は各学科の入学人数目標と予測、在籍者目標と予測から綿密な計画を立てている。学校、学科を取り巻く環境を常に考慮し、単年度ごとには見直し、健全な学校運営・学科運営が出来るよう努力している。収支計画(予算)は5年間作成され、そのうち次期1年間の予算については具体的に作成する。	当初予算→四半期予算実績対比→修正予算→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点の特徴として挙げられる。			
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか							
	8-30 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3		私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。	現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えられる。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。			
8-31 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3		学校内部としては「財務情報公開規程」を作成し、財務情報の公開にあたって必要最低限の項目を定め、具体的な事項については「情報公開マニュアル」を作成して、対応にあたっている。	「財務情報公開規程」では、目的、管理、公開対象書類、閲覧場所・時間、閲覧申請等を規定している。すなわち、情報公開に必要な最低限の事項を定めている				

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2024年5月23日 委員会実施】

2023年度自己点検自己評価(2023年4月1日～2024年3月31日)による

衛生 まとめ

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
9 法令等の遵守	9-32 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3	法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りができています。 また教職員への啓発として、法令や設置基準の遵守に対する教育または研修を実施している。	(1)組織体制 ①財務情報公開組織体制(あり) ②個人情報管理組織体制(あり) ③地球温暖化防止委員会 ④進路変更委員会 (2)システム ①個人情報管理システム ②建物安全管理システム ③物品購入棚卸システム ④コンピューター管理システム	3.0	学校の設置基準・その他の法令を厳守して学校運営がなされています。 教職員や学生に対してはハラスメント防止のマニュアルを策定し、さらにコンプライアンス委員会を設置して学校運営が適正かどうかをチェックする体制が整備されていることは評価すべきだと思います。 また自己評価を学校評価委員会で、カリキュラムの編成は教育課程編成委員会で評価を行うなど、しっかりした実施体制が確立しています。
	9-33 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	全ての役員・教職員・講師が個人情報に関する法規則を遵守し、個人情報保護に関する基本理念を実践するために「個人情報保護基本規程」を構築し、社会的要請の変化にも着目し、個人情報保護管理体制の継続的改善にも取り組んでいる。 学校という業務上、日々、大量の個人情報を扱っている。その管理においては外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年個人情報保護管理状況についての検定を受け、ライセンスを更新しホームページ上に明記している。また、教職員研修、学生の教育を徹底し、情報漏えいのないよう努めている。	主な事項は以下の通り。 ・適切な個人情報の収集、保管、使用、開示及び提供に関する事項。 ・保管している個人情報の保護・修正・変更に関する事項。 ・対外的な当校の個人情報取扱についての周知、問合せ・苦情受付に関する事項。 ・教職員への教育・研修、周知徹底に関する事項。 個人情報を取り扱う業務の外部委託先については、「選定チェック表」により審査をし、業務委託時には「業務委託契約書」に保護を明記させ「個人情報保護誓約書」を提示させている。 個人情報保護最高責任者資格(認定CPO資格)を取得した職員を配置している。		
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	私立専門学校等評価研究機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施しており、結果をホームページ上で公表している。	毎年5月に定められた委員会により、学校全体で取り組んでいる。		
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか					
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか					
9-35 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	私立専門学校等評価研究機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施しており、あわせて職業実践専門課程の基準に準じて教育内容についてもホームページ上で公表している。	情報公開ページ https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/			
10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	業界・卒業生に施設設備の貸出を優先的に行っている。 また、業界・行政からの要請があった場合にいつでも協力する準備はある。	大田区と災害時協力協定を締結した。 臨床実習先として訪問歯科診療を行っている実習先を開拓する。 大田区大森歯科医師会と連携し、歯科技工士・歯科衛生士の人材教育、人材不足問題について検討している。	2.6	幼稚園・保育園さらに小学校や中学校へ出張授業で歯磨きや口臭衛生の授業は学生にも、該当する小学生や中学生そして幼児の保護者にも喜ばれる授業だと思います。 学生が卒業した学校などに働きかけると、良い反応が期待できるものと思います。 地域のボランティア等に参加していただきたいです。
	10-37 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2	歯科衛生士会等が主催するボランティア活動へ学生が参加できるように、歯科衛生士会との連携を強化する。AEDを設置しており、緊急の際には地域の方にも使って頂ける用意がある。			
11 国際交流	11-38 国際交流に取り組んでいるか	3	国際情勢により海外研修は中止となったが、国内国際性講座にて対面セミナーを実施し、海外の歯科業界事情について学び、現地の歯科衛生士と交流することができた。 また、留学生の受け入れを実施している。	2023年度海外研修は、国際情勢により中止。	3.0	歯科衛生は国の安定とともに関心が高くなる分野です。歯磨きや衛生そのもので海外に学生を派遣することは難しい問題だと思いますが、さらに留学生の受け入れを行い、留学生を通じての国際交流に期待します。 学生の頃の吸収力の高い時期なので、コロナも5類となり海外研修は大変貴重な経験となるので実施していただきたいです。